

2023年度事業報告書

NPO法人しぶたね

I 事業期間

2023年4月1日から2024年3月31日まで

II 事業の成果

今年度は、活動20周年を迎え、楽しく盛り上がりながらこれまでつながって来てくれた方々に感謝を伝えるとともに、これを契機に新たなつながりと応援の輪を広げていく1年となった。

きょうだいへのサポート活動については、「きょうだいさんの日」と毎週末の「レッドのへや」に加え、各地の支援団体との協働開催や、ゲストとしてお招きいただく機会も増え、きょうだいさんたちと過ごすイベントは20回を超えた。対面イベントをきっかけにレッドのへやに来てくれる子がいたり、オンラインでしか会えてなかった子と直接会えたり、つながれる機会が増えて喜ばしい。

啓発事業については、対面とオンラインが並行する状況が定着してきており、講演回数は大幅な増加となった昨年度からほぼ横這いとなった。シブリングサポーター研修ワークショップも、回数は概ね横這いであったが、小規模開催も多く、人数は微減の414名となった。全国のシブリングサポーターは20周年を目前に2,000人の大台を突破し、今年度末現在で2,281名となっている。昨年度まで3年間取り組んできた「シブパネル」も、シブリングサポーター研修ワークショップの次のステップという位置づけで1回開催することができた。シブリングサポーターミーティングは、今年度もオンラインでの交流となったが、来年度も状況と内容に照らして柔軟に検討したい。今年度から名称を変えたきょうだい支援ゆるゆるカフェについては、少人数で気軽に相談し合える場として一定の機能を果たしており、きょうだいの日の作戦会議の場ともなっているので、引き続き必要に応じて開催したい。

4月10日のシブリングデーには、病気や障害のある子どものきょうだい向けにはオリジナルあめちゃんの配布とメッセージ動画の公開、一般社会に向けてはSNSでの発信に力を入れ、全国の仲間たちの協力のおかげで今回もTwitter(現X)でのトレンド入りを果たすことができた。有名キャラクターやゲームの公式アカウントでも発信されたり、着実な広がりを感じられる。来年度に向けては、オリジナルラムネの準備を進めつつ、メッセージ動画については各団体や個人が個別にSNSで配信する形に変え、拡散力の強化を図る。また、4月10日の翌日から4月20日までを「きょうだいの日10days」とし、各地でのイベントが組みやすい環境を作ることで更なる盛り上がりを目指す。

20周年記念事業については、本会の設立日である11月1日からの1年間を20周年イヤーと位置づけ、今年度は、シブレンジャーによるお祭りの企画できょうだい支援の周知を図ることと、記念イベントの開催を通じてこれまでお世話になってきた方々への感謝を表すことを両輪として展開した。シブレンジャー企画については、来年度公開予定のPVの撮影を行う中で、古くからお世話になっている方、新たに出会った方、双方からのご協力を得てつながりを深めることができ、記念イベントでは、いつも支えてくださっている方々にも、久方ぶりのきょうだいさんやご家族の方々にも再会することができ、次なる10年への力をいただいた。来年度も、「楽しく」と「感謝」を合言葉に盛り上げ、記念誌の発行などを通じて社会への更なる周知を図っていく契機としたい。

課題としていた業務量増加への対策としては、「しぶカフェ」という形でボランティアさんに来てもらい、手伝ってもらったり相談にのってもらう場を試行している。まだ手探りの状況ではあるが、これによりスタッフの意識が変わっていく効果も大きく、引き続き取り組んでいきたい。

Ⅲ 事業の実施状況

1. きょうだいサポート事業

(1) きょうだいのためのワークショップ「きょうだいさんの日」の開催

【内 容】 きょうだいに集まってもらい、安心して過ごせる空気の中であそんだり、おかし
のくじ引きをしたり、親子でふれ合うなどのワークショップを行った。毎週金曜日
のオンラインミニ企画「シブレットのへやのとびら あけておくね」も継続、5月
の大型連休中には一度臨時開催し、計53回開催した。

【実施時期・場所・参加きょうだい人数】

① 5月4日(木) ドーンセンター	5名
② 7月2日(日) 高知県立ふくし交流プラザ	5名
③ 7月22日(土) 箕面支援学校(納涼祭ゲスト参加)	
④ 7月23日(日) オンライン(グリーンフ企画)	9名
⑤ 8月5日(土) ドーンセンター	3名
⑥ 8月26日(土) オンライン(学生進路企画)	5名
⑦ 10月1日(日) J:COM 中央区民センター(ちょこっと縁日)	6名
⑧ 10月22日(日) ドーンセンター	4名
⑨ 10月29日(日) 浜北特別支援学校(ミントモゲスト参加)	
⑩ 12月2日(土) グランフロント大阪	6名
⑪ 12月3日(日) 日本調剤駿河台薬局	11名
⑫ 12月10日(日) オンライン(おかしカレンダーをつくろう)	23名
⑬ 12月10日(日) 秋田市文化創造館(あきたきょうだいネットワークゲスト参加)	
⑭ 12月23日(土) 静岡県立こども病院(きょうだいカフェゲスト参加)	
⑮ 12月26日(月) オンライン(四条畷保健所主催)	5名
⑯ 1月8日(日) オンライン(うみとそらのおうちゲスト参加)	
⑰ 1月14日(日) 熊谷市スポーツ・文化村「くまびあ」	5名
⑱ 1月15日(月) 立正大学	3名
⑲ 2月4日(日) オンライン(グリーンフ企画)	9名
⑳ 2月17日(土) オンライン(済生会横浜市東部病院ゲスト参加)	
㉑ 3月10日(日) ドーンセンター	6名
㉒ 3月20日(水) 名古屋大学医学部附属病院(ゲスト参加)	
㉓ オンライン企画「シブレットのへやのとびら あけておくね」 毎週金曜日及び5月2日(木)	各回5~10名

【対象者】 病気をもつ子どものきょうだい

【収 益】 なし

【費 用】 932,473円(給料手当240,000円、臨時雇賃金240,000円、法定福利費48,252円
印刷製本費3,370円、旅費交通費57,200円、通信運搬費41,889円
消耗品費185,808円、賃借料113,254円、保険料2,700円)

(2) 面会中の親を病院の廊下で待つきょうだいと過ごす活動

【内 容】 親が入院中の子どもの面会に行く際、感染の問題から自由に病棟に入ることが

できず、廊下で待っているきょうだいと、おもちゃなどであそぶ活動だが、未だ病院に立ち入る許可が下りず休止中。オンライン企画の案内は続けている。

- 【実施場所】 大阪市立総合医療センター7階廊下
- 【実施時期】 毎月2回目、4回目の火曜日 18時～20時（現在は休止中）
- 【対象者】 病院に入院している子どものきょうだい
- 【収益】 なし
- 【費用】 143,348円（給料手当120,000円、法定福利費23,348円）

（3）きょうだいサポート冊子の作成・配布

- 【内容】 きょうだいと大人とで読んだり書き込んだりできる小冊子「きょうだいさんのための本」、病気のきょうだいを亡くした子ども向けの「きょうだいさんのための本②」を配布。今年度も学会ブースなどの配布機会はまだ少なく増刷は見送り、累計発行部数はそれぞれ47,000部、40,000部の計87,000部となっている。
- 【実施場所】 事務局より発送
- 【実施時期】 随時
- 【対象者】 きょうだい、きょうだいに関わる人
- 【収益】 なし
- 【費用】 174,126円（給料手当120,000円、法定福利費23,348円、通信運搬費25,804円、消耗品費4,974円）

2. 啓発事業

（1）講師派遣、寄稿等事業

- 【内容】 きょうだいの現状及び支援の必要性を広く訴えるため、要請に応じて講師の派遣や各種発行物への寄稿、各種メディアの取材対応を行った。
- 【実施時期・場所】

・講演

- ① 4月30日（日）北海道こどもホスピタルプロジェクト きょうだい支援シンポジウム
- ② 5月14日（日）小児病棟わくわく応援団サミット
- ③ 5月20日（土）大阪総合保育大学 特別支援教育集中講義
- ④ 5月21日（日）日本アラジール症候群の会応援オンラインイベント
- ⑤ 5月25日（木）クレオ大阪 地域子育て活動者研修
- ⑥ 5月27日（土）訪問看護ステーション幹 幹らんど開所式
- ⑦ 5月27日（土）JAIFA 滋賀県協会 定時総会・講演会
- ⑧ 6月7日（水）大阪市立関目東小学校 PTA 講演会
- ⑨ 6月17日（土）チャイルド・ケモ・ハウス あのねサポーター交流会
- ⑩ 7月2日（日）がんの子どものトータルケア研究会
- ⑪ 7月6日（木）大阪自動車青年会議所 例会・講演会
- ⑫ 7月12日（水）西宮市立西宮高等学校 保健講演会
- ⑬ 9月9日（土）日本外来小児科学会 きょうだい支援ワークショップ
- ⑭ 9月20日（水）famille きょうだいの会 きょうだい支援講演会

- ⑮ 9月23日(土) 暮らしのグリーフサポートみなと オンライン公開講座
 - ⑯ 9月25日(月) 大阪市地域公共人材バンク 10周年記念交流会
 - ⑰ 9月28日(木) 明石医療センター附属看護専門学校 特別講演
 - ⑱ 10月3日(火) 神戸市灘区社会福祉協議会 なだふくしフェスタ
 - ⑲ 10月10日(火) 大阪市地域リハビリテーション協議会 関係機関職員研修会
 - ⑳ 10月16日(月) 園田学園女子大学人間健康学部人間看護学科 初年次演習Ⅱ
 - ㉑ 10月21日(土) 瀬戸旭医師会 もーやっこ Jr の広場
 - ㉒ 11月3日(金) 川越市小児慢性特定疾病児童等自立支援事業 講演会
 - ㉓ 11月4日(土) 埼玉県小児慢性特定疾病児童等ピアカウンセリング事業
 - ㉔ 11月9日(木) 長浜養護学校 PTA 研修会
 - ㉕ 11月13日(月) 宮城大学 家族看護論
 - ㉖ 11月16日(木) 明石市肢体不自由児者父母の会 講演会
 - ㉗ 11月17日(金) ラジオ大阪 桑原あずさの as life
 - ㉘ 11月19日(日) 山形県医療的ケア児者・重症児者の会 Faro 講演会
 - ㉙ 11月21日(火) 神奈川県 小児がん従事者研修
 - ㉚ 11月29日(水) こども時間案内人 もっとみーとフィー
 - ㉛ 12月7日(木) 筑後市社会福祉協議会 校区福祉役員オンライン視察研修
 - ㉜ 12月17日(日) 横浜こどもホスピスプロジェクト 小児緩和ケアセミナー
 - ㉝ 12月20日(水) 大阪市心身障がい者リハビリテーションセンター 市民啓発事業
 - ㉞ 12月24日(日) 公益財団法人原田積善会 こどもホスピスにおけるトータルケア
 - ㉟ 1月6日(土) 関西国際大学 病弱児の心理・生理・病理
 - ㊱ 1月9日(火) 神戸大学 教師入門
 - ㊲ 1月15日(月) 立正大学 ソーシャルワーク総論特別講義
 - ㊳ 1月22日(土) 広島大学 教育相談
 - ㊴ 1月24日(水) 長岡こども介護医療専門学校 医療保育特別講演会
 - ㊵ 1月25日(木) あそびかた研究会
 - ㊶ 2月10日(土) 春日部市 キッズ交流ステーションうちまき 講演会
 - ㊷ 2月23日(金) スマイルオブキッズ きょうだい児支援シンポジウム
 - ㊸ 3月2日(土) CancerTears 「生きづらさ」と向き合うヒント
 - ㊹ 3月3日(日) 阪奈発達学びの会 春の特別企画
 - ㊺ 3月7日(木) 心魂プロジェクト オンラインデリバリーパフォーマンス
 - ㊻ 3月17日(日) 堺市社会福祉事業団 啓発研修
- ・ 寄稿、出演など
- ① 4月16日(日) 北海道新聞 (活動紹介)
 - ② 6月10日(土) 静岡新聞 (講演活動告知)
 - ③ 8月25日(金) NHK きん5時
 - ④ 10月25日(水) 中日新聞 (シブサポ研修)
 - ⑤ 大東市報 12月号
 - ⑥ 阪急沿線情報誌「TOKK」1月号
 - ⑦ 1月18日(木) タウンニュース南区 (シンポジウム)

⑧ 3月13日(水) 毎日新聞(小児がん征圧募金贈呈式)

・ブース出展等

① 4月1日(土)～3月31日(日) 日本フィランソロピー協会 誕生日寄付

② 4月8日(土) 阪急百貨店 H2O サンタ チャリティトーク

③ 4月11日(火) イオンイエローレシートキャンペーン贈呈式

④ 5月11日(木) イオンイエローレシートキャンペーン店頭 PR

⑤ 6月3日(土) 日本医療保育学会 ブース出展

⑥ 7月11日(火) イオンイエローレシートキャンペーン店頭 PR

⑦ 8月1日(火)～3月31日(日) 大阪ガス カフェテリアラン社会貢献寄付コース

⑧ 8月2日(水)～4日(金) 阪急百貨店 H2O サンタ NPO フェスティバル

⑨ 9月9日(土)～10日(日) 日本外来小児科学会ブース出展

⑩ 10月11日(水) イオンイエローレシートキャンペーン贈呈式

⑪ 11月26日(日) 大阪グレートサンタラン

⑫ 12月11日(月) イオンイエローレシートキャンペーン店頭 PR

⑬ 1月13日(土) 阪急百貨店 H2O サンタ チャリティトーク

⑭ 3月12日(火) 毎日新聞 小児がん征圧募金贈呈式

【対象者】 保健所、患者会、学校、病院、支援団体など

【収益】 1,318,275円(講師料等)

【費用】 919,558円(給料手当460,000円、臨時雇賃金240,000円、法定福利費48,252円、
諸謝金20,000円、旅費交通費143,403円、通信運搬費3,520円、
消耗品費4,383円)

(2) シブリングサポーター養成事業

【内容】 きょうだいの現状及び支援の必要性を理解し、必要なスキルを習得した人材を育成するため、テキストを用意して研修を行い、修了者を「シブリングサポーター」に認定。次なるステップとして、大人になったきょうだいの声を聴く会「シブパネル」も開催した。さらに、修了者を対象にした「シブリングサポーターミーティング」を開き、サポーター同士の情報交換や意識の共有を図りつつ互いに励まし合い、一緒にきょうだいを応援する仲間が存在を確認できる場を設けるとともに、より気軽につながれる「きょうだい支援ゆるゆるカフェ」も概ね隔月で実施した。

【実施時期・場所・参加人数】

・シブリングサポーター研修ワークショップ

① 4月29日(土) EZOHUB SAPPORO HIGUMA ホール 29名

② 5月28日(日) オンライン(茨城中心) 39名

③ 7月9日(日) 石川県女性センター 35名

④ 7月26日(水) 関西大学 2名

⑤ 8月19日(土) にぎわい交流館 AU(あう) 31名

⑥ 9月2日(土) 立川市女性総合センターアイム 24名

⑦ 9月17日(日) オンライン(静岡中心) 10名

⑧ 9月24日(日) オンライン(学生きょうだい会) 5名

⑨ 10月14日(土) 東園田町総合会館	17名
⑩ 10月19日(木) オンライン(秋田大学 SSA)	5名
⑪ 10月28日(土) 聖隷クリストファー大学	49名
⑫ 11月12日(日) 仙台市太白障害者福祉センター	26名
⑬ 2月11日(日) 武蔵野大学	49名
⑭ 2月25日(日) 千里金蘭大学	49名
⑮ 3月30日(土) オンライン(しぶたね主催)	44名

・シブパネル

12月9日(土) アキタスクエア	14名
------------------	-----

・シブリングサポーターミーティング

3月16日(土) オンライン	13名
----------------	-----

・きょうだい支援ゆるゆるカフェ(すべてオンライン)

- ①5月21日(日) 8名、②7月29日(土) 9名、③9月30日(土) 7名
 ④1月27日(土) 10名、⑤2月17日(土) 7名

【対象者】 病院スタッフ、学生、きょうだい支援に関心のある一般市民

【収益】 946,005円(研修参加費)

【費用】 1,288,849円(給料手当480,000円、臨時雇賃金240,000円、法定福利費51,150円
 諸謝金80,000円、印刷製本費208,844円、旅費交通費77,850円
 通信運搬費32,843円、消耗品費118,162円)

シブリングデー啓発キャンペーン

【内容】 今年度もきょうだい向け、一般向けの両輪でキャンペーンを展開。きょうだい向けには、7,000個のオリジナルあめちゃんを作成、配布するとともに、「きょうだい支援ゆるゆる会議」の参加者で作ったメッセージ動画を公開した。一般向けには、各地のきょうだい支援仲間と協力して SNS での発信を積極的に行い、Twitter でのトレンド入りを果たすことができた。

来年度に向けては、きょうだいに向けてオリジナルラムネを作成・配布、メッセージ動画も SNS で各自配信という形に変えて取り組む予定。4月20日までの「きょうだいの日10days」の設定により各団体のイベント展開を後押しする。

【収益】 なし

【費用】 587,729円(給料手当220,000円、法定福利費23,348円、印刷製本費5,480円
 会議費368円、旅費交通費1,200円、通信運搬費29,780円
 消耗品費305,813円、賃借料1,740円)

(4) 20周年記念事業

【内容】 今年度は、きょうだいさんやご家族、ボランティアさんや応援会員さんなど、今までお世話になった方々をお招きして、感謝を伝えるイベントを開催した。WASABI さんから提供いただいたシブレンジャーのテーマソングを用いた PV 制作についても、プロのカメラマンさんや各地の支援者さんのご協力のもと撮影を行い、費用のご寄附をくださった方々には絵ハガキを配布した。現在カメラマンさんが編集をし

てくださっており、完成した際には公開イベントを行う予定。記念誌も20周年イヤーの間に作成する予定となっている。

【イベント実施時期・場所・参加人数】

・しぶたね20th ありがとうの会

11月23日(木) ドーンセンター

59名

【収 益】 なし

【費 用】 1,012,716円(給料手当240,000円、臨時雇賃金120,000円、法定福利費49,808円、諸謝金237,411円、印刷製本費3,590円、会議費5,262円、旅費交通費97,621円、通信運搬費13,970円、消耗品費97,874円、賃借料147,180円)

IV 社員総会の開催状況

第7回通常総会

【日 時】 2023年6月4日(日) 14時30分から16時00分まで

【場 所】 大阪府中央区大手前1丁目3-49 ドーンセンター 小会議室

【社員総数】 11名

【出席者数】 11名(うち電磁的記録による表決者数2名)

【内 容】 第1号議案 2022年度事業報告書承認の件 審議の結果、全員一致で可決承認
第2号議案 2022年度決算承認の件 審議の結果、全員一致で可決承認

V 理事会その他の役員会の開催状況

第7回理事会

【日 時】 2023年6月4日(日) 13時00分から14時30分まで

【場 所】 大阪府中央区大手前1丁目3-49 ドーンセンター 小会議室

【理事総数】 5名

【出席者数】 5名

【内 容】 第1号議案 2022年度事業報告書承認の件 審議の結果、全員一致で可決承認
第2号議案 2022年度決算承認の件 審議の結果、全員一致で可決承認
第3号議案 2023年度事業計画書承認の件 審議の結果、全員一致で可決承認
第4号議案 2023年度予算承認の件 審議の結果、全員一致で可決承認